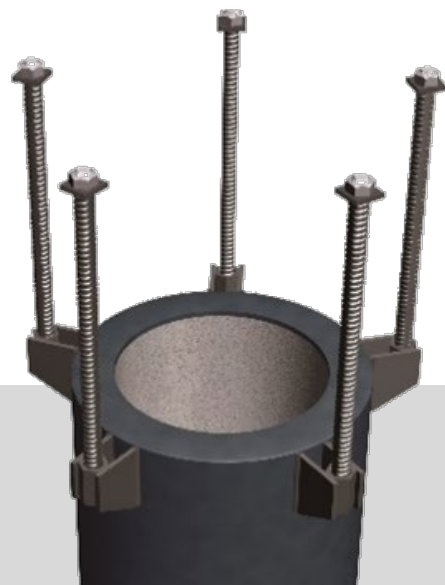


2020年12月期 決算説明会



クラウンパイルアンカー



ベースパックVシリーズ



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

岡部グループの事業領域

多角化事業

リフトテーブル等の製造・販売や、
魚礁の製造・販売を行っております。

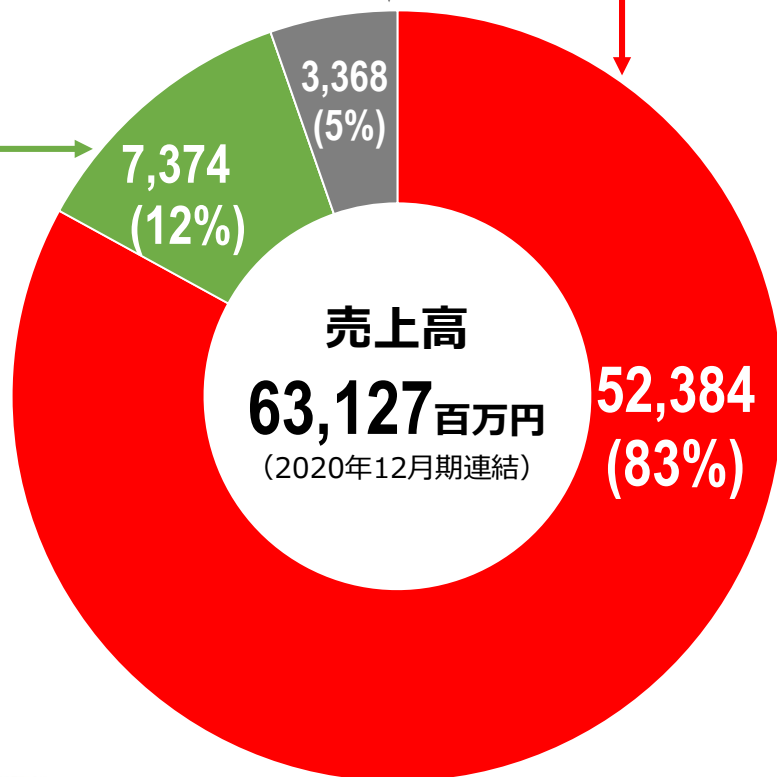
自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売、
トラック等向けボルト・ナットの
販売を行っております。



建設関連製品事業

- 仮設・型枠製品
 - 土木製品
 - 構造機材製品
 - 建材商品（北米含む）
- より構成されております。



国内・海外売上比率

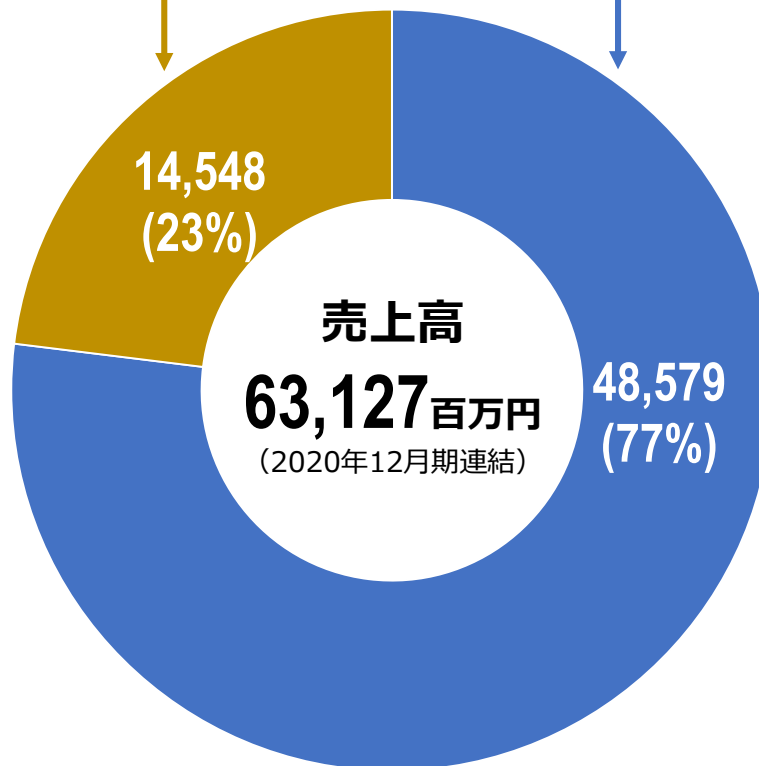
海外事業

- 建材商品販売
- 自動車関連製品事業から構成されています。



国内事業

- 建設関連製品事業等から構成されています。



本日のアジェンダ

I. 2020年12月期 通期連結業績概要

II. 2021年12月期 通期連結業績の見通し

**III. Topics SDGsへの取り組みについて
(中期経営計画の推進について)**

I . 2020年12月期 通期連結業績概要

2020年サマリー

プラス要因

建設関連製品事業

- 国土強靱化計画等を追い風とし、土木製品の販売が好調。

建設関連製品事業 (北米)

- 新型コロナの影響が限定的だったため、増収を確保。

建設関連製品事業

- 鉄骨造の着工床面積の大幅な減少により、ベースパックの販売が低調に推移。

自動車関連製品事業

- 新型コロナによる自動車需要減少および環境問題対策コストの上昇により減収減益となり、営業損失を計上。

多角化事業

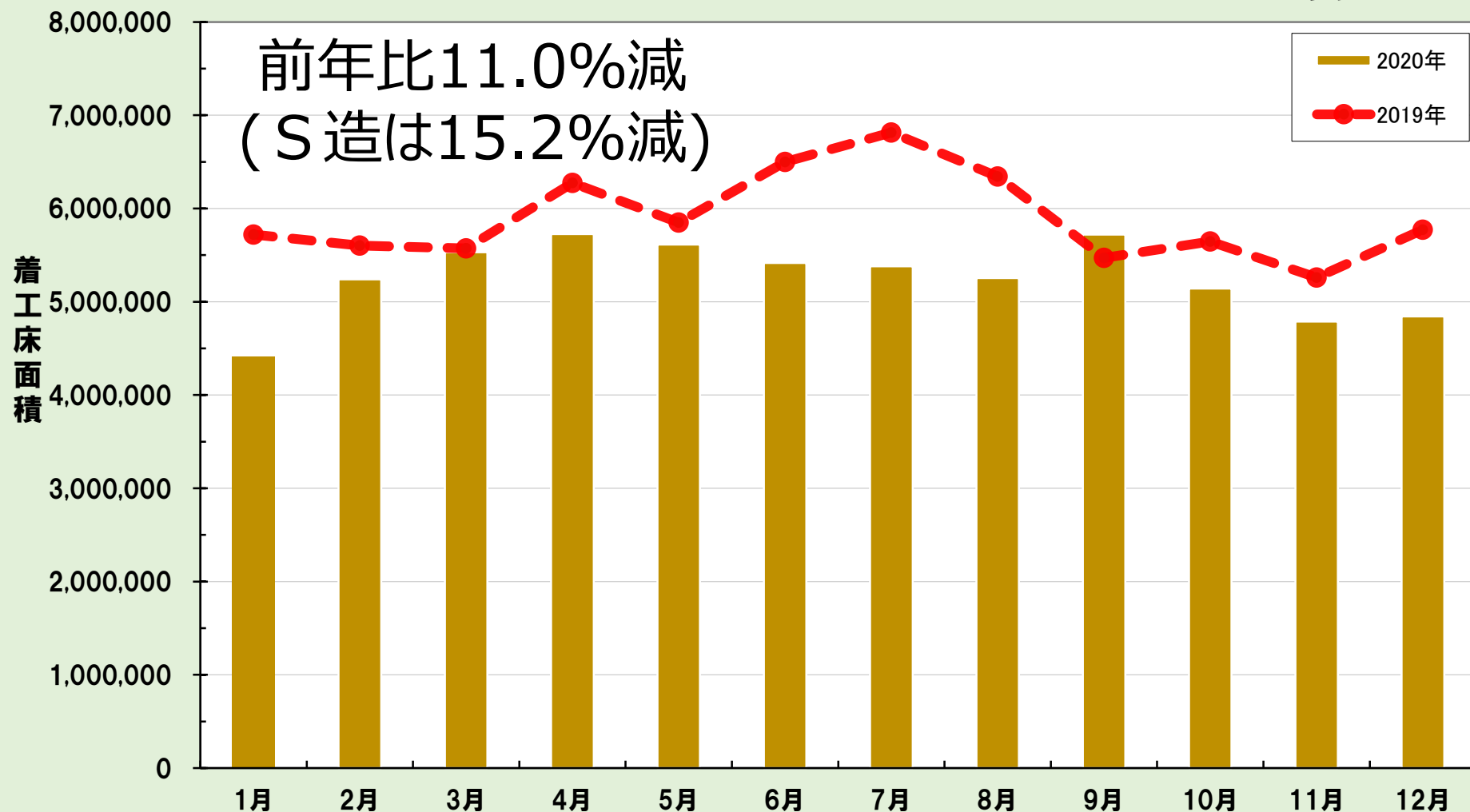
- 釣り用錘の販売が低調に推移し、減益要因に。

マイナス要因

2020年 建設着工床面積 推移

単位: m²

前年比11.0%減
(S造は15.2%減)



セグメント別・製品別売上高 【前期比】

(単位：百万円)		2019 通期実績	2020 通期実績	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,072	6,690	△382	△5.4%
	土木製品	6,517	7,526	1,009	15.5%
	構造機材製品	21,046	19,613	△1,433	△6.8%
	建材商品（国内）	12,412	11,799	△613	△4.9%
	建材商品（海外）	6,628	6,755	126	1.9%
建設関連製品事業		53,678	52,384	△1,293	△2.4%
自動車関連製品事業		8,809	7,374	△1,434	△16.3%
多角化事業		2,922	3,368	445	15.3%
合 計		65,409	63,127	△2,281	△3.5%

セグメント別営業利益【前期比】

(単位：百万円)	2019 通期実績	2020 通期実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	5,005	4,537	△467	△9.3%
自動車関連製品事業	133	△193	△327	—
多 角 化 事 業	155	152	△3	△1.9%
合 計	5,294	4,496	△798	△15.1%

連結業績概況 【前期比】

(単位：百万円)	2019 通期実績	2020 通期実績	増減額	増減率
売上高	65,409	63,127	△2,281	△3.5%
営業利益	5,294	4,496	△798	△15.1%
(営業利益率)	8.1%	7.1%	—	—
経常利益	5,619	4,702	△917	△16.3%
(特別損失)	605	1,127	521	86.2%
当期純利益	3,342	2,685	△656	△19.6%

Ⅱ. 2021年12月期 通期連結業績の見通し

2021年度の見通し

プラス材料

建設関連製品事業

- 国土強靱化計画の実行や災害復興需要により、公共投資が堅調に推移する見通し。

自動車関連製品事業

- 環境問題により低下していた稼働率の回復等により、営業黒字への転換を見込む。

新型コロナが収束しない場合、以下の影響が懸念されます。

マイナス材料

建設関連製品事業

- 建設工事の進捗の遅れや中止による建材需要低迷。

自動車関連製品事業

- 個人消費の落ち込みによる自動車需要が減少。

セグメント別 事業状況の見通しについて

建設関連 製品事業

建設関連(国内)：新型コロナの影響が懸念されるが、堅調な公共投資等を追い風に土木製品の伸長および構造機材製品の回復を見込み、増収を予想。

建材商品(海外)：現地通貨ベースでは増収増益を見込むが、予想為替レートの設定数値により円ベースでは減収を予想。

自動車関連 製品事業

バッテリー端子

- ・北米：環境問題による稼働率が徐々に回復し黒字転換を見込む。
- ・欧州：生産効率の改善により、増益を見込む。

ボルト・ナット

- ・北米：市場の回復もあり、やや増収増益を見込む。

多角化 事業

リフトテーブル：設備投資動向の回復を見込み、増収予想。

海洋事業：前年を上回る魚礁の販売を見込む。

釣り用錘：生産効率の改善により営業赤字の圧縮を見込む。

アクションプラン

全社の方針

不透明な外部環境に対応するため、中計の施策であるSDGs経営、働き方の見直し、グローバル化(現地生産等)を実行し、レジリエントな企業を目指す。

建設関連製品事業

- 提案型営業による高付加価値製品の拡販等。

自動車関連製品事業

- 環境問題の対策により安定稼働を目指す。

2021年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2020 通期実績	2021 通期予想	増減額	増減率
売 上 高	63,127	65,000	1,872	3.0%
営 業 利 益	4,496	4,900	403	9.0%
(営 業 利 益 率)	7.1%	7.5%	—	—
経 常 利 益	4,702	5,000	297	6.3%
(特 別 損 失)	1,127	482	△645	△57.2%
当 期 純 利 益	2,685	3,050	364	13.6%

2021年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)

		2020 通期実績	2021 通期予想	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	6,690	6,800	109	1.6%
	土木製品	7,526	7,750	223	3.0%
	構造機材製品	19,613	20,700	1,086	5.5%
	建材商品	11,799	12,000	200	1.7%
	建材商品（海外）	6,755	6,550	△205	△3.0%
建設関連製品事業		52,384	53,800	1,415	2.7%
自動車関連製品事業		7,374	7,700	325	4.4%
多角化事業		3,368	3,500	131	3.9%
合 計		63,127	65,000	1,872	3.0%

2021年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

	2020 通期実績	2021 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,537	4,600	62	1.4%
自動車関連製品事業	△193	100	293	—
多 角 化 事 業	152	200	47	31.1%
合 計	4,496	4,900	403	9.0%

株主還元方針

方針

安定的な配当を継続することを基本とし、連結業績を考慮し、あわせて企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案して決定する方針。

本年については、新型コロナの拡大等による状況の急変に備えたキャッシュポジションも勘案し、配当額を決定。

配当

中間・期末（年間2回）

自己株式の取得

株価の水準と機動的な資本政策等遂行の必要性、財務体質への影響等を考慮したうえで、総合的に判断して、適宜実行

株主還元 -配当について-

	2019	2020※	2021 (予想)
1株当たり 当期純利益	67.07円	54.90円	62.84円
1株当たり 配当金額	28.00円	17.00円	20.00円
連結配当性向	41.7%	31.0%	31.8%

※2020年度は自社株買いを実施したため、総還元性向は64.2%となります。

※2020年度の配当額は3月実施予定の株主総会による決議を前提としております。

株主還元 -自己株式取得-

	2010	2011	2015	2016	2020
平均取得価 単	334円	389円	1,039円	885円	743円
取得株式数 (株)	1,100,000	1,658,700	1,500,000	1,129,700	1,300,000
取得総額 (百万円)	367	645	1,558	999	966

資産収益性について

- ・財務の健全性を維持しつつ、持続的な向上を図ります

(単位：百万円)	2019	2020	2021 (予想)
当期純利益	3,342	2,685	3,050
純資産	57,101	58,116	59,167
ROE	5.9%	4.6%	5.2%

※純資産の数字は期中平均を使用しております。

Ⅲ. Topics SDGsへの取り組みについて (中期経営計画の推進について)

中期経営計画2020-2022

NEXT100

— PHASE 2 —

中期経営計画2020-2022

NEXT100

— PHASE 2 —

多様な人材の
獲得・育成

社内外の
コミュニケーション向上

コーポレート・
ガバナンス強化

Strengthen
経営基盤強化

建設関連製品
事業

自動車関連製品
事業

多角化
事業

STRATEGY

3つの柱

ソリューション企画・
提案力の向上

経営基盤
強化

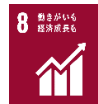
グローバル展開力

VISION

Global Maker

総合的な
ソリューション提供により、
地球規模の課題の
解決に貢献する
グローバルメーカーへ

重点的に取り組むSDGs



OKABE's Sustainability

OKABEの サステナビリティ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2020

2023

2030

中期経営計画 2020-2022

NEXT100-PHASE2

SDGsとは What is the SDGs?

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。



OKABEの事業を通じた社会への貢献

ありたい姿

人とのつながりと価値を創造するグローバルメーカー

社会課題

- 産業廃棄物問題
- 耐震・制震・免震への要請
- 地震国日本
- 建築現場の作業員の
高齢化・人手不足
- 建物の安全・安心に
対するニーズ
- 車社会による環境汚染
- 海洋汚染
- 地球温暖化



企業
理念

安全・安心の提供を通じて
社会に貢献する



建設関連
製品事業



自動車関連
製品事業



多角化
事業

技術開発力

人材育成

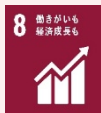
ガバナンス・リスクマネジメント

ESGマネジメント

社会への貢献

- 豊かで安全な社会
- 災害予防による安心
- 建設作業員の労働改善
- 省力化による産業の効率化
- 環境保全
- CO₂の削減
- 海洋資源の保護
- 就業環境の改善
- 多様性への対応
- 女性の活躍推進

貢献できるSDGs



SDGs達成に向けた5つの重点目標

社会

Social

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



既存の枠組みにとらわれず、
災害から人々のくらしや社会インフラを守る
製品の開発を目指します。

11 住み続けられる
まちづくりを



製品の開発・製造・販売を通じて、
激甚化する災害に対する強靱さを持った
まちづくりに貢献します。

8 働きがいも
経済成長も



従業員にとって一生を託して悔いのない
職場を提供します。
すべての従業員の権利保護を基礎とし、社員一人
ひとりが能力を発揮できる職場環境を構築します。

環境

Environment

14 海の豊かさを
守ろう



当社製品により海のサステナブルサイクルを創出し、
豊かな海洋資源を次世代につなぎます。
また、海洋資源に含まれる海藻は、ブルーカーボン
(CO₂の吸収)を促進し、地球環境保護にも貢献します。

12 つくる責任
つかう責任



品質管理の徹底はもちろん、
CO₂の排出量や産業廃棄物量をモニタリングし、
継続的な削減活動に取り組みます。

活動のご報告および取り組み方針-1

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



産業と技術革新の 基盤をつくらう

既存の枠組みにとらわれず、災害から人々のくらしや社会インフラを守る製品の開発を目指します。



11 住み続けられる
まちづくりを



住み続けられるまちづくりを

製品の開発・製造・提案を通じて、激甚化する災害に対する強靭さを持った街づくりに貢献します。



活動のご報告および取り組み方針-2

12 つくる責任
つかう責任



つくる責任、つかう責任

品質管理の徹底はもちろん、CO₂の削減や産業廃棄物量をモニタリングし、排出量の継続的な削減活動に取り組めます。



8 働きたいも
経済成長も



働きたいも、経済成長も

従業員にとって一生を託して悔いのない職場を提供します。
すべての従業員の権利保護を基礎とし、
社員一人ひとりが能力を発揮できる職場環境を構築します。

NEXT100
-Exciting Future-

**「取ろう!」
有給休暇**
月1日以上取得!

**「帰ろう!」
ノー残業デーの
定時退社**

岡部もやります。

働き方改革に向けた
3つの施策

- 1 業務の細部し・
食料分散の推進
※本部・事業所・支店・工場・倉庫の業務を
分散して行うことで、業務の効率化を図る。
- 2 NO MORE
自主廃業
※業務の効率化を図ることで、業務の効率化を図る。
- 3 1/8会議の実施
※1/8会議の実施により、業務の効率化を図る。

従業員のための
「働き方改革」推進中!

okabe

活動のご報告および取り組み方針-3

14 海の豊かさを守ろう

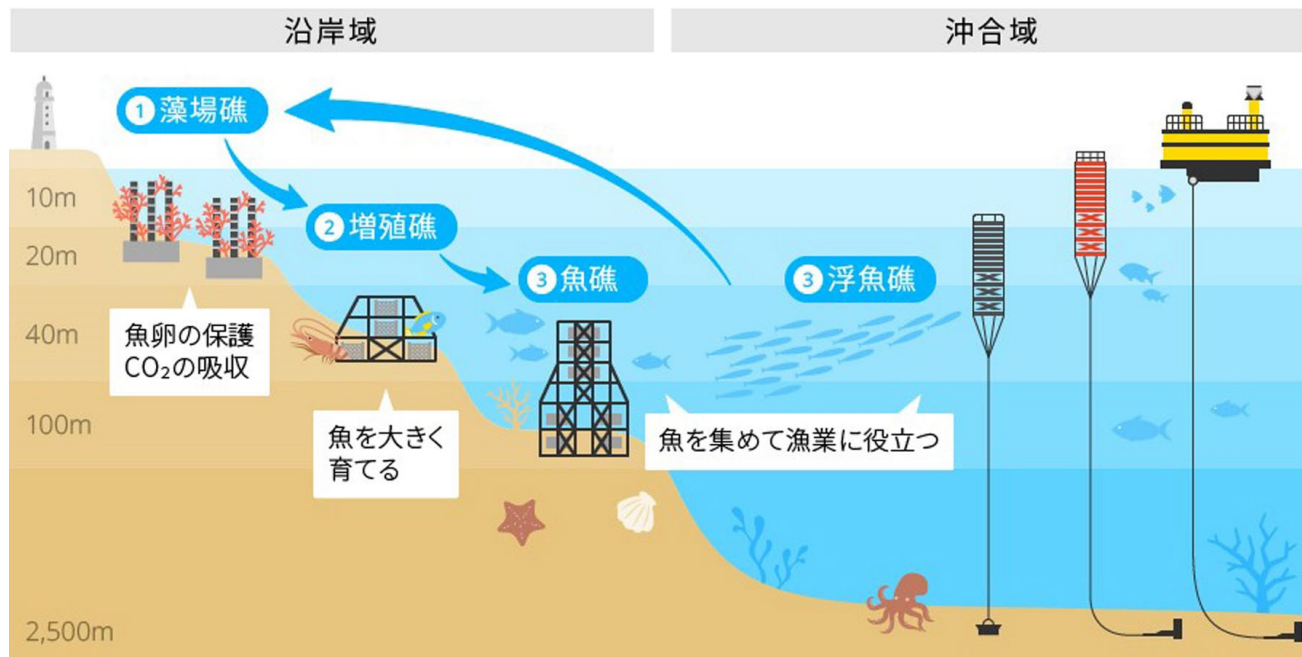


海の豊かさを守ろう

1.海のサステナブルサイクルの創出

2.CO2吸収への貢献

サステナブルサイクル概念図



活動のご報告および取り組み方針-3

14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう

海のサステナブルサイクルを創出

当社は以下 3 つの製品を提供することで、海の生き物や海藻を増やしなが海洋資源を次世代につなげ、海のサステナブルサイクルの創出に貢献しています。

① 藻場礁

海の生き物の産卵場となる

現在、地球温暖化の影響などにより減少する藻場（海藻が群生する空間）を人工的に回復させます。

回復した藻場は、魚の産卵場および幼魚の育成場となり魚の増加に貢献しています。



② 増殖礁

魚の成長を助ける

藻場で生まれた幼魚を成魚へと成長させます。

魚のエサの生産や隠れ家の提供などにより魚をより安全に、大きく育てることに貢献しています。

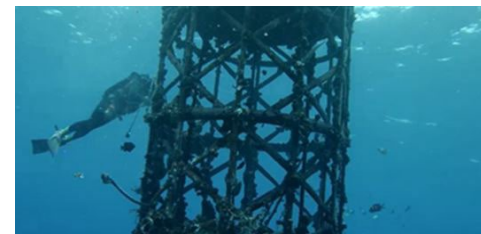


③ 魚礁・浮魚礁

大きく育った魚を集めて 効率的な漁業をアシストする

藻場礁・増殖礁で生まれ育った成魚が集まります。

効率的な漁業をアシストし、日本の魚食文化を支えています。



活動のご報告および取り組み方針-3

14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう

1. 海のサステナブルサイクルの創出
2. CO₂吸収への貢献

CO₂吸収への貢献

当社が保有する隠岐研究所にて培った
研究結果をもとに、海の環境に合わせた
藻の種苗（しゅびょう）を提供



藻場礁



増殖礁

海藻の増加

海藻が海のCO₂を吸収
カーボンオフセットを実施中

藻場礁や増殖礁の販売強化
海藻の研究促進

より多くのCO₂を吸収
カーボンニュートラル企業を目指す。

2019年時点
二酸化炭素吸収量

年間

約**784kg**

SDGsデータ集 CO₂に関するご説明（数値抜粋）

SDGs Goals	対象範囲	内 容	単 位	2019年 実績	2020年 実績 (ブランクは計測中)	数値目標 (2022年度)	備 考
 14 海の豊かさを守ろう	海洋事業	生産活動における 総CO ₂ 換算排出量 合計 計算式：(①+②-③)	tco2	2,803		—	②については計測中
		③ 藻場礁により吸収する CO ₂ 量	tco2	0.7		—	CO ₂ 吸収により海洋酸性度の 低下に貢献しております。
 12 つくる責任 つかう責任	建設関連製品事業 国内主要工場 (久喜・茨城・京都)	① 総CO ₂ 換算排出量	tco2	2,804			
	自動車関連製品事業 (WG社米国工場)	② 総CO ₂ 換算排出量	tco2	-			計測中

SDGsデータ集 CO₂に関するご説明

CO₂ 排出量

国内
主要工場

2,804t

排出量の削減



CO₂ 吸収量

海洋事業における
CO₂吸収量

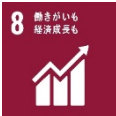
0.7t

吸収量の増加



カーボンニュートラル企業を目指す

SDGsデータ集 持続的事業展開について (数値抜粋)

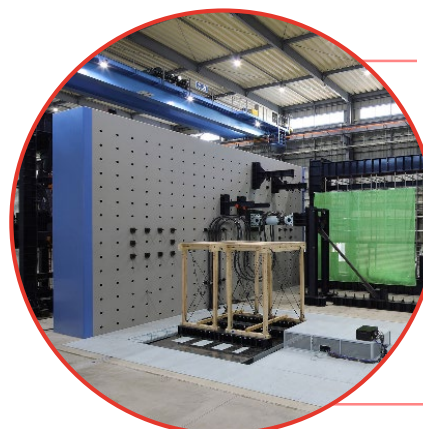
SDGs Goals	対象範囲	内 容	単 位	2019年 実績	2020年 実績 (プランクは計測中)	数値目標 (2022年度)	備 考
	建設関連製品事業 (国内)	博士号を持つ社員の数	名	3		—	
		共同研究する大学の数	校 校	契約関係 : 3 協力関係 : 6		—	
	建設関連製品事業 (国内)	耐震・免振等に貢献する製品 (構造機材製品)の売上高	百万円	12,692		—	
		法面補強等に貢献する製品 (土木製品)の売上高	百万円	3,146		—	
	岡部(株)単体	女性従業員数	名	131	132	138以上	
		女性管理職数	名	3	6	5	
		介護休暇の取得者数	名	0	0	—	
		完全育児休暇取得従業員比率	%	10.0	13.3	30	
		女性営業員の比率	%	0	0.9	—	
		女性従業員の増加率	%	8.3	0	5以上	
		女性昇進比率	%	7.4	6.3	8以上	
		女性採用戦略の有無	なし	なし	なし	—	
		女性取締役比率	%	14.3	16.7	—	

SDGsデータ集 持続的事業展開について



人材

- 女性の活用
- 介護休暇の取得者の増加
- 育児休暇をとる従業員の増加



研究開発

- 博士号を持つ人材の増加
- 共同研究する大学の増加



**当社の耐震・免震等に貢献する
製品・法面補強等に貢献する製品の売上高の向上**

住み続けられるまちづくりに貢献します。

2030年 SDGsゴールに向けてOKABEが取組むこと

ありたい
姿

人とのつながりを創造するグローバルメーカー

2020年

中期経営計画2020-2022

建設関連製品事業

耐震・防災・減災、省力化需要にこたえる新製品開発に加えて、既存建物・構造物の補強・改修ニーズをとらえた製品開発と事業展開に積極的に取り組んでまいります。

自動車関連製品事業

地域住民、顧客等のステークホルダーからの信頼回復を最優先課題として、環境に配慮した新製品の開発および生産技術力の向上ならびに生産設備の更新に取り組んでまいります。

多角化事業

SDGsの目標の一つである「海の豊かさを守ろう」に貢献すべく、高付加価値浮魚礁の開発、海外への事業展開、応用藻類学研究所の活用による製品開発に取り組んでまいります。

人材の可能性追求・人とのつながりを強めるための経営基盤強化

- **多様な人材の獲得・育成**
経営者人材の育成、グローバル人材（外国人含む）、技術系人材などの育成または獲得、女性活用の促進などを積極的に行ってまいります。
- **ITの先進的な活用による社内外のコミュニケーション向上と人とのつながりを確かなものに**
ITの活用により、顧客サービスの向上等による付加価値の創出および業務効率化ならびに多様な働き方が可能な職場環境の実現を図ります。
また、地域住民等のステークホルダーとのコミュニケーションを豊かにして人とのつながりをより確かなものにします。
- **コーポレート・ガバナンス強化**
指名・報酬委員会の設置、執行役員制度の見直し等により、より透明性の高いガバナンス体制を構築いたします。

2023年



SDGsゴールに向け
以下5つを重点目標とし
新たな事業創出に
取り組んでまいります。



2030年

持続的成長で次の100年へ

参考資料

2021年度セグメント別・製品別売上高予想（上期・下期）

（単位：百万円）

		2021 上期予想	2021 下期予想	2021 通期予想
製品別	仮設・型枠製品	3,321	3,479	6,800
	土木製品	3,633	4,117	7,750
	構造機材製品	10,025	10,675	20,700
	建材商品	5,860	6,140	12,000
	建材商品（海外）	3,034	3,516	6,550
建設関連製品事業		25,873	27,927	53,800
自動車関連製品事業		3,818	3,882	7,700
多角化事業		1,409	2,091	3,500
合計		31,100	33,900	65,000

2021年度セグメント別営業利益予想(上期・下期)

(単位：百万円)

	2021 上期予想	2021 下期予想	2021 通期予想
建設関連製品事業	2,003	2,597	4,600
自動車関連製品事業	△6	106	100
多角化事業	3	197	200
合 計	2,000	2,900	4,900

2021年度通期連結業績予想(上期・下期)

(単位：百万円)

	2021 上期予想	2021 下期予想	2021 通期予想
売上高	31,100	33,900	65,000
営業利益	2,000	2,900	4,900
経常利益	2,050	2,950	5,000
当期純利益	1,010	2,040	3,050

SDGsデータ集

	SDGs Goals	対象範囲	内容	単位	2019年実績	2020年実績 (プランクは計画)	数値目標 (2022年度)	備考
S 社会	9 産業・イノベーション	建設関連製品事業 (国内)	研究開発費	百万円	616		—	
			新製品発売数	件	10		年間10	
			製品開発を実施する人数	名	22		—	
			特許取得数	件 件	特許6 意匠2		年間30	目標内訳： 特許20,意匠5,商標5
			学会等における発表数	件	建築学会大会1		—	大学との共同発表含む
			論文発表数	件	6		年間5	
			博士号を持つ社員の数	名	3		—	
			女性研究員の数	名	3		—	
			共同研究する大学の数	校 校	契約関係：3 協力関係：6		—	
			耐震・免振等に貢献する製品(構造機材製品)の売上高	百万円	12,692		—	
	11 持続可能な都市とコミュニティ	建設関連製品事業 (国内)	法面補強等に貢献する製品(土木製品)の売上高	百万円	3,146		—	

	SDGs Goals	対象範囲	内容	単位	2019年実績	2020年実績 (プランクは計画)	数値目標 (2022年度)	備考
E 環境	14 海の豊かさを守ろう	海洋事業	生産活動における総CO ₂ 換算排出量 合計 計算式：(①+②-③)	tco2	2,803		—	②については計測中
			③ 藻場礁により吸収するCO ₂ 量	kg	784		—	CO ₂ 吸収により海洋酸性度の低下に貢献しております。
			藻場礁による磯焼け対策を施した面積	m	12,894		—	
			大量培養技術を用いた事業件数	件	0	1	—	
			有効成分を持つ未利用海藻資源の発掘数	件	2		—	
			共同研究する大学の数	件	6		—	
			学会等における発表数	件	5		—	
			その他の外部発表数	件	4		—	
			水産資源のリサイクル	kg	10,490		—	
	12 つぎの世代のために地球を豊かに保とう	建設関連製品事業 国内主要工場 (久喜・茨城・京都)	① 総CO ₂ 換算排出量	tco2	2,804			
			総エネルギー使用量	GJ	43,501		—	
			購入電力	MWh	3,973		—	
			総廃棄物量	トン	171(ton)		—	
			総廃棄物リサイクル量	トン	3,006(ton)		—	
			設備投資額(生産関係)	百万円	168		—	
	12 つぎの世代のために地球を豊かに保とう	自動車関連製品事業 (WG社米国工場)	② 総CO ₂ 換算排出量	tco2	-			計測中
			VOC(有機化合物)排出量	トン	57.5		排出ゼロ	
			総廃棄物量	No data	No data		—	
			有害廃棄物量	トン	67.75		—	
			流出・汚染に絡む不祥事	件	3		排出ゼロ	
			設備投資額(生産関連)	K	\$9,908		—	

SDGsデータ集

SDGs Goals	対象範囲	内 容	単 位	2019年 実績	2020年 実績 (プランクは計画中)	数値目標 (2022年度)	備 考
S 社会	 岡部(株)単体	従業員離職率	%	4.3	3.4	4以下	
		労働組合参加率	%	68.1	70.3	—	
		従業員負傷者数	名	5	1	0	
		従業員における総事故件数	件	5	9	0	
		請負業者総事故数	件	14	4	目標0	
		総研修費用	百万円	40	24	40	
		女性従業員数	名	131	132	138以上	
		女性管理職数	名	3	6	5	
		障害のある従業員数	名	8	7	14	
		寄付総額	百万円	18	19	17	
		健康・安全性に絡む不祥事数	件	0	0	0	
		介護休暇の取得者数	名	0	0	—	
		完全育児休暇取得従業員比率	%	10.0	13.3	30	
		女性営業員の比率	%	0	0.9	—	
		女性従業員の増加率	%	8.3	0	5以上	
		女性昇進比率	%	7.4	6.3	8以上	
		女性採用戦略の有無	なし	なし	なし	—	
		社会・地域貢献活動に参加した社員の数	名	200	200	200	
		社会・地域貢献活動への投資額	百万円	15	16	16	
		平均残業時間	時間	18.1	14.6	17	

SDGs Goals	対象範囲	内 容	単 位	2019年 実績	2020年 実績 (プランクは計画中)	数値目標 (2022年度)	備 考
G ガバナンス	岡部(株)単体	社外取締役の独立性	%	100.0	100.0	100%独立	
		監査等委員会の社外取締役比率	%	80.0	80.0	—	
		指名・報酬委員会の社外取締役比率	%	57.1	57.1	—	
		取締役の株式報酬比率	%	0.0	0.0	—	
		取締役会の出席率	%	98.8	99.4	100	
		女性取締役比率	%	14.3	16.7	—	
		社外取締役比率	%	28.5	33.3	1/3以上	
		報酬方針・サステナビリティ 報奨金制度	無	無	無	—	
		取締役会の報酬総額	百万円	280	264	—	
		報酬に絡む不祥事の有無	件	0	0	0	
		取締役の年齢幅、 (最年長年齢-最年少年齢)	歳差	18差	18差	—	
		取締役(監査等委員である 取締役を除く。)の任期	年	1	1	—	
		取締役会開催数	回	17	13	年12回以上	
		監査等委員会の開催数	回	17	14	年12回以上	
		監査等委員会の出席率	%	97.2	98.6	100	